



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ

上場取引所 東

コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大槻 哲也

TEL 06-6376-8088

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,868	△7.2	447	△0.7	1,022	10.6	638	5.1
25年3月期第3四半期	40,817	△2.2	450	△12.1	924	△0.8	607	75.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 679百万円 (1.9%) 25年3月期第3四半期 666百万円 (98.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	63.97	—
25年3月期第3四半期	60.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	38,692	16,472	42.3	1,638.01
25年3月期	39,615	16,012	40.2	1,593.06

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 16,355百万円 25年3月期 15,907百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.00	—	10.00	22.00
26年3月期	—	12.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	19.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,724	1.5	962	83.6	1,375	14.3	1,047	49.5	104.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	11,025,032 株	25年3月期	11,025,032 株
26年3月期3Q	1,039,857 株	25年3月期	1,039,637 株
26年3月期3Q	9,985,297 株	25年3月期3Q	9,985,427 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続は終了いたしております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策に対する期待感から、消費マインドに変化が現われはじめ、また2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定し、中長期的な経済効果が期待されております。しかしながら、平成26年4月より消費税率引上げが決定したことに伴い、駆け込み需要とその反動減による影響が懸念されるとともに、個人所得の向上などの実体経済の本格的な回復までに至っておらず、引き続き、楽観視できない状況が続いております。

持ち帰り弁当事業では、異業種、異業態からの参入をはじめ、競争が厳しくなる中、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、お客様にとって「価値」のある商品、サービス提供に努めるとともに、新規出店に際しての立地選定の厳格化と、入店しやすく快適な店づくりを進めてまいりました。

店舗委託事業においては、新規業務委託先の獲得による事業の拡大、未稼働店舗の圧縮とともに利益率の向上に努めてまいりました。

このような中、当第3四半期連結累計期間において、売上高378億68百万円（前年同期比7.2%減）、営業利益4億47百万円（前年同期比0.7%減）、経常利益10億22百万円（前年同期比10.6%増）、四半期純利益6億38百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①持ち帰り弁当事業

地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求いたしております。多様化するニーズにお応えすべく、味付け、ボリュームをはじめ、ターゲットを明確化した商品開発と、店舗照明のLED化や「涼厨」機器の導入など、ランニングコストの低減を図ってまいりました。

持ち帰り弁当事業におきましては、売上高176億50百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益11億54百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

#### ②店舗委託事業

平成26年4月からの消費税の引き上げによる消費の落ち込みへの懸念から、本格的な需要の回復には至っていないものの、積極的な優良物件の仕入や不採算店舗の解約等により、空家賃の軽減やストック収入の増加に努めて参りました。

その結果、利益率は向上し、店舗委託事業の売上高は164億95百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は1億48百万円（前年同期比33.4%増）となりました。

#### ③店舗管理事業

店舗管理事業におきましては、政府・日銀による経済対策や大胆な金融緩和の効果等を背景に、住宅投資や個人消費に持ち直しの動きがみられるなど緩やかな回復基調にあるものの、法人需要の拡大には至らず、全体としては前年並みで推移いたしました。

店舗管理事業の売上高は4億24百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益は2億39百万円（前年同期比9.9%減）となりました。

#### ④店舗直営事業

お客様に心地よく快適な空間でお食事を召し上がっていただく為の店舗改装を進め、10月にびっくり寿司「センター北店」「新百合ヶ丘店」、11月に同「成城店」「新城店」のリニューアルオープンを実施いたしました。

また、宴会早割キャンペーンや携帯会員加入促進等、お客様のニーズに対応した施策を展開して参りました。

その結果、店舗直営事業の売上高は、14億59百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は50百万円（前年同期は営業損失43百万円）となりました。

#### ⑤その他の事業

フレッシュ・ベーカリー事業においては、季節、イベントに合わせた商品の販売に努め、平成25年10月には、ハロウィンクッキーやハロウィンカップケーキを発売、平成25年12月にはクリスマス関連商品に注力し、バターと生クリームをたっぷり使ったクリスマスオリジナルクッキーなどを発売し好評をいただきました。

物流関連事業においては、既存インフラの有効活用を図り、配送効率の向上、コスト削減を行うとともに、グループ外向け事業の拡大を図っております。

以上の結果、その他の事業の売上高は18億38百万円（前年同期比10.5%減）、営業損失は38百万円（前年同期は営業利益56百万円）

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億22百万円減少し、386億92百万円となりました。主に建物及び構築物が4億82百万円、敷金及び保証金が1億31百万円、長期未収入金が2億9百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ13億82百万円減少し、222億20百万円となりました。主に1年内返済予定の長期借入金4億72百万円、長期借入金7億2百万円、負ののれんが2億20百万円それぞれ減少したことによるものです。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ4億59百万円増加し164億72百万円となりました。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ44.95円増加し1,638.01円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の40.2%から2.1ポイント上昇し42.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。その理由につきましては、平成25年11月11日付公表の「平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

なお、上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社アサヒ物流を吸収合併存続会社とし、株式会社ハーツフードサービスを吸収合併消滅会社とする合併により、連結の範囲から株式会社ハーツフードサービスを除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,438,736	5,719,461
受取手形及び売掛金	2,284,643	2,456,251
有価証券	—	28,470
商品及び製品	602,658	638,843
原材料及び貯蔵品	131,185	122,569
繰延税金資産	120,227	198,514
その他	1,441,159	902,305
貸倒引当金	△109,401	△107,973
流動資産合計	9,909,208	9,958,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,698,534	7,216,471
機械装置及び運搬具（純額）	75,127	64,145
工具、器具及び備品（純額）	471,373	392,409
土地	12,194,216	12,194,216
リース資産（純額）	113,579	139,013
建設仮勘定	5,000	81,193
有形固定資産合計	20,557,832	20,087,449
無形固定資産		
のれん	227,204	186,976
その他	148,177	178,821
無形固定資産合計	375,381	365,798
投資その他の資産		
投資有価証券	1,614,809	1,537,898
長期貸付金	386,045	260,269
敷金及び保証金	5,790,682	5,658,743
繰延税金資産	115,454	90,670
長期未収入金	1,813,343	1,603,927
その他	821,153	712,627
貸倒引当金	△1,768,540	△1,583,417
投資その他の資産合計	8,772,947	8,280,719
固定資産合計	29,706,161	28,733,968
資産合計	39,615,370	38,692,409

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,529,433	2,725,339
短期借入金	814,000	807,000
1年内返済予定の長期借入金	4,173,140	3,700,290
未払金	1,057,178	955,183
未払法人税等	128,662	78,675
未払消費税等	89,782	78,981
賞与引当金	165,868	120,323
預り金	1,517,789	1,598,173
その他	1,689,433	1,648,603
流動負債合計	12,165,287	11,712,570
固定負債		
社債	92,500	57,500
長期借入金	6,347,250	5,644,890
退職給付引当金	42,498	43,303
負ののれん	561,540	341,223
長期預り保証金	3,367,882	3,427,889
繰延税金負債	367,758	367,983
資産除去債務	316,283	306,637
その他	341,559	318,321
固定負債合計	11,437,272	10,507,748
負債合計	23,602,559	22,220,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,930,816
利益剰余金	9,403,868	9,822,779
自己株式	△1,515,077	△1,515,246
株主資本合計	15,856,257	16,274,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,062	80,815
その他の包括利益累計額合計	51,062	80,815
少数株主持分	105,490	116,275
純資産合計	16,012,810	16,472,090
負債純資産合計	39,615,370	38,692,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	40,817,206	37,868,535
売上原価	31,094,705	28,819,357
売上総利益	9,722,500	9,049,177
販売費及び一般管理費	9,271,595	8,601,601
営業利益	450,905	447,575
営業外収益		
受取利息	11,611	13,663
受取配当金	6,059	6,423
受取賃貸料	158,692	167,441
負ののれん償却額	251,483	220,317
業務委託契約解約益	152,479	152,679
持分法による投資利益	16,740	17,402
その他	173,016	206,352
営業外収益合計	770,083	784,279
営業外費用		
支払利息	129,177	83,615
賃貸費用	26,896	43,510
業務委託契約解約損	48,438	12,448
訴訟関連費用	24,029	3,780
その他	67,970	66,366
営業外費用合計	296,512	209,721
経常利益	924,476	1,022,132
特別利益		
固定資産売却益	103,876	30,952
投資有価証券売却益	—	4,904
受取和解金	21,640	457
その他	3,598	5,805
特別利益合計	129,115	42,119
特別損失		
固定資産除却損	44,085	192,405
固定資産売却損	14,760	349
投資有価証券評価損	—	30,300
減損損失	—	19,111
その他	25,174	12,141
特別損失合計	84,019	254,307
税金等調整前四半期純利益	969,571	809,945
法人税、住民税及び事業税	283,967	223,914
法人税等調整額	29,508	△63,485
法人税等合計	313,475	160,428
少数株主損益調整前四半期純利益	656,095	649,516
少数株主利益	48,293	10,784
四半期純利益	607,802	638,731

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	656,095	649,516
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	10,944	21,987
持分法適用会社に対する持分相当額	△243	7,765
その他の包括利益合計	10,700	29,752
四半期包括利益	666,796	679,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	618,503	668,484
少数株主に係る四半期包括利益	48,293	10,784

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	19,184,171	17,466,469	457,711	1,656,123	38,764,476
セグメント間の内部売上高又は 振替高	213,540	21,422	—	24,000	258,962
計	19,397,712	17,487,891	457,711	1,680,123	39,023,439
セグメント利益又は損失(△)	1,143,762	111,705	265,929	△43,181	1,478,215

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	2,052,729	40,817,206	—	40,817,206
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,564,330	2,823,293	△2,823,293	—
計	4,617,060	43,640,499	△2,823,293	40,817,206
セグメント利益又は損失(△)	56,987	1,535,203	△1,084,297	450,905

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,084,297千円には、セグメント間取引消去13,913千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△1,098,210千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	17,650,806	16,495,211	424,545	1,459,841	36,030,405
セグメント間の内部売上高又は 振替高	186,756	43,967	—	5,000	235,723
計	17,837,562	16,539,178	424,545	1,464,841	36,266,128
セグメント利益又は損失（△）	1,154,358	148,971	239,488	50,236	1,593,054

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,838,130	37,868,535	—	37,868,535
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,194,170	2,429,894	△2,429,894	—
計	4,032,300	40,298,429	△2,429,894	37,868,535
セグメント利益又は損失（△）	△38,216	1,554,838	△1,107,262	447,575

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,107,262千円には、セグメント間取引消去△45,702千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△1,061,560千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。